

- 三 賞遇ノ廢止
  - 四 文書、圖畫閱讀ノ三月以内ノ禁止
  - 五 請願作業ノ十日以内ノ停止
  - 六 自辨ニ係ル衣類、臥具、著用ノ十五日以内ノ停止
  - 七 糧食自辨ノ十五日以内ノ停止
  - 八 運動ノ五日以内ノ停止
  - 九 作業賞與金計算高ノ一割又ハ全部削減
  - 十 七日以内ノ減食
  - 十一 二月以内ノ輕屏禁
  - 十二 七日以内ノ重屏禁
- 屏禁ハ受罰者ヲ罰室内ニ晝夜屏居セシメ、情狀ニ因リ就業セシメサルコトヲ得、重屏禁ニ在テハ仍ホ罰室ヲ暗クシ、臥具ヲ禁ス
- 第一項各號ノ懲罰ハ之ヲ併科スルコトヲ得

第六十一條 前條第一項第十號ノ懲罰ハ刑事被告入及ヒ十八歳未満ノ在監者ニ之ヲ科セス

第六十二條 懲罰ニ處セラレタル者、疾病其他特別ノ事由アルトキハ其懲罰ノ執行ヲ停止スルコトヲ得

懲罰ニ處セラレタル者、改悛ノ狀著シキトキハ其懲罰ヲ免除スルコトヲ得

第十二章 釋放

第六十三條 在監者ノ釋放ハ恩赦、職權アル者ノ命令又ハ刑期ノ終了ニ因リ關係文書ヲ查閱シテ其手續ヲ爲ス可シ

第六十四條 恩赦ヲ受ケ又ハ假出獄若クハ假出場ヲ許サレタル者ハ其裁可狀又ハ許可書ノ監獄ニ達シタル後二十四時間内ニ之ヲ釋放ス

第六十五條 前條ノ場合ヲ除ク外命令ニ因リ釋

- 放ヲ爲ス可キ者ハ命令書ノ監獄ニ達シタル後十時間内ニ之ヲ釋放ス
  - 第六十六條 假出獄又ハ假出場ヲ許サレタル者ヲ釋放スルトキハ之ニ證據ヲ交付ス
  - 第六十七條 假出獄ヲ許サレタル者ハ其期間左ノ規定ヲ遵守ス可シ
    - 一 正業ニ就キ善行ヲ保ツコト
    - 二 警察官署ノ監督ヲ受クルコト但警察官署ハ監獄ノ意見ヲ聽キ他ニ其監督ヲ委任スルコトヲ得
    - 三 住居ヲ轉移シ又ハ十日以上旅行ヲ爲サントスルトキハ監督者ノ許可ヲ請フコト
- 主務大臣ハ假出獄ヲ許サレタル者ノ帝國外ニ旅行ヲ爲スヲ許スコトヲ得
- 第六十八條 滿期ノ者ハ其刑期終了ノ翌日午後

六時マテニ之ヲ釋放ス

第六十九條 釋放セラレ可キ者重キ疾病ニ罹リ監獄ニ於テ醫療中ナルトキハ其請求ニ因リ仍ホ在監セシムルコトヲ得

第七十條 釋放セラレ可キ者歸住旅費若クハ相當ノ衣類ヲ有セサルトキ又ハ監獄行政ノ便宜ニ因リ移監セシメタルカ爲メ歸住旅費ノ増加ヲ要スルニ至リタルトキハ衣類又ハ旅費ヲ給與スルコトヲ得

第十三章 死亡

第七十一條 死刑ノ執行ハ監獄内ノ刑場ニ於テ之ヲ爲ス

大祭祝日、一月一日、二月二十三日、三月三十一日ニハ死刑ヲ執行セス

第七十二條 死刑ヲ執行スルトキハ絞首ノ後死

相ヲ檢シ仍ホ五分時ヲ經ルニ非サレハ絞繩ヲ解クコトヲ得ス  
第七十三條 在監者死亡シタルトキハ之ヲ假葬ス

死體ハ必要ト認ムルトキハ之ヲ火葬スルコトヲ得  
死體又ハ遺骨ハ假葬後二年ヲ經テ之ヲ合葬スルコトヲ得

第七十四條 死亡者ノ親族故舊ニシテ死體又ハ遺骨ヲ請フ者アルトキハ何時ニテモ之ヲ交付スルコトヲ得但合葬後ハ此限ニ在ラス

第七十五條 受刑者ノ死體ハ命令ノ定ムル所ニ依リ解剖ノ爲メ病院、學校又ハ其他ノ公務所ニ之ヲ送付スルコトヲ得

附則

本法ハ刑法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
監獄則ハ之ヲ廢止ス但懲治人ニ關スル規定ハ當分ノ内仍ホ其效力ヲ有ス

監 獄 法 終

明治四十一年六月五日訂正八版印刷  
明治四十一年六月十日訂正八版發行

定價 三十一元

編輯兼發行者

吉 永 鉄 太 郎

賣 捌 所

大阪市南區心齋橋通安堂寺町南入

宋 榮 堂

賣 捌 所

東京市日本橋區箱屋町十六番地

前 川 亦 三 郎

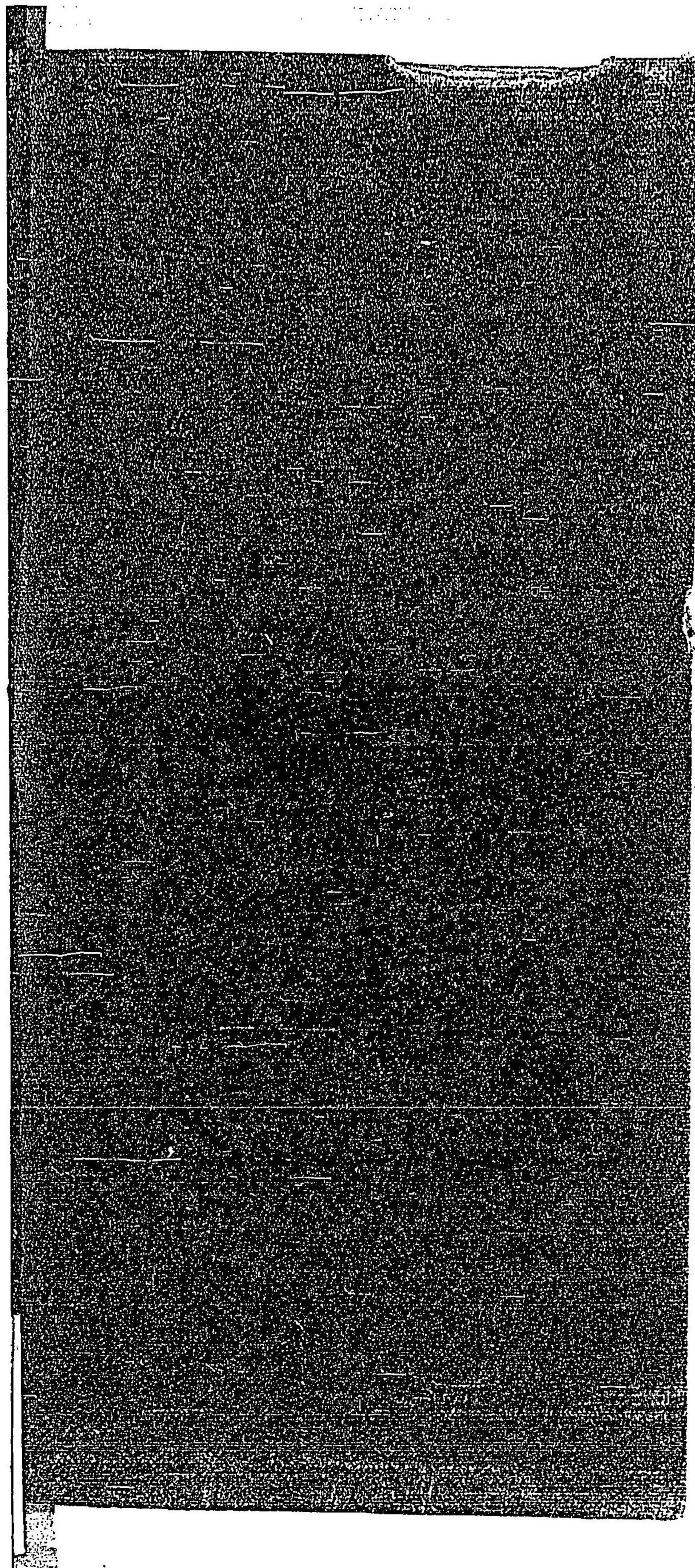
印 刷 者

大阪市南區安堂寺橋通二丁目廿六番屋敷

山 田 元 吉

新形六法全書出版記

法律資料第一課  
29.10.8  
調査立法考査局





031062-000-0

320.91-Y916t(th)

帝国六法全書

(新形軽便)

吉永 鉄太郎 / 編

M41

BBC-0648



